

ソイルボード

雑草の成長を抑える

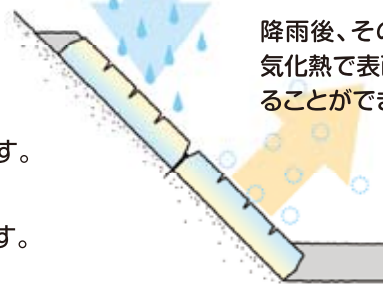
ソイルボード



特長

1㎡当り最大8ℓ以上の保水能力があり、ヒートアイランド現象を抑制するための十分な水分蒸発量があります。
自然の土が主原料なので環境にやさしいです。
年月を経て味わいが深まります。
周囲の環境に溶け込み自然と調和がとれます。

雨が降るとボードに保水され…



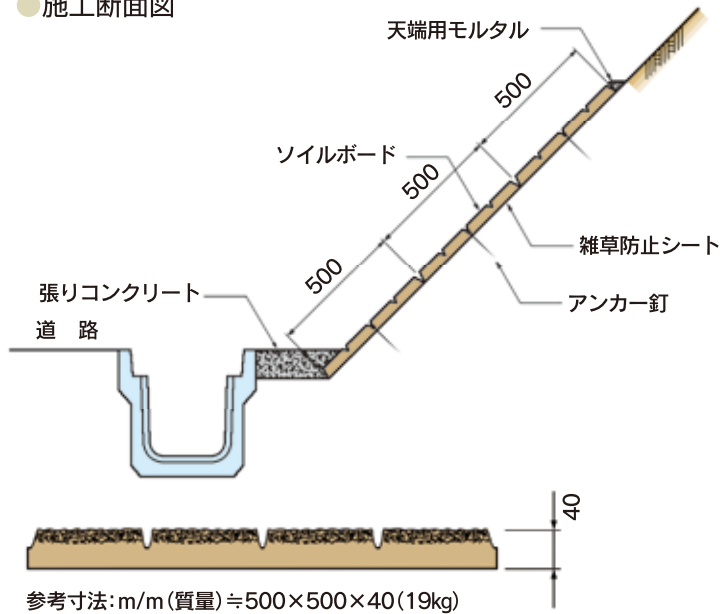
降雨後、その水が蒸発し気化熱で表面温度を下げる事ができる。



※写真は合成によるイメージです。

製品データ

● 施工断面図



歩掛表

10m²当り

名称	数量	単位
ソイルボード	40	枚
雑草防止シート	10	m ²
アンカー釘	40	本
土木一般世話役	0.08	人
ブロック工	0.15	人
普通作業員	0.30	人
諸雑費	5	%

上記アンカー釘の本数は製品1枚につき1本の場合です。アンカー本数は施工現場状況(土質勾配等)により変化し、最大5本まで打つことが出来ます。

法尻・天端・端部工などは含みません。

施工手順



1. 法面の整形

施工する法面部分の雑草の除去及び整形を行います。柔軟性があるので、施工面に多少の起伏があっても馴染みますが、沈下するなどした場合は填圧してください。



2. 雑草防止シートの貼り付け

専用の雑草防止シートを施工する法面に貼り付けますが、構造物との接続部には隙間のないように敷き詰めて下さい。尚、シートの上に土埃や土砂がある場合は必ず除去して下さい。雑草抑止効果を低下させる場合があります。



3. ソイルボードの設置

雑草防止シートの上にソイルボードを法面の一番したになる位置を決めて、下側から敷きこみます。原則として隙間のないように据え付け、シートが露出しないようにしてください。



4. アンカー打ち込み

ある程度の枚数を据え付け、目地通りをチェックした後、専用のアンカー釘を打ち込み固定します。1枚あたり1本のアンカー釘を打ち込みますが、比較的勾配の急な法面には3~5本の釘を打ち込みます。



5. 法尻、天端の処理

現場状況に応じて、法尻などの処理を行います。天端、端部や、隙間が5mm以上ある場合、構造物との接続部には必ず十分にモルタル充填を施してください。



6. 仕上がり・完成

※現場環境によっては凍結による釘の浮き上がりなどが生じる場合があります。